

産地パワーアップ事業  
都道府県事業評価報告書

都道府県名 広島県

産地パワーアップ計画

地域協議会名	地区名	取組主体	対象作物	事業実施年度	事業内容	取組内容	成果目標	現状 (H27)	目標 (H30)	実績 (H30)	達成率 (%)	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県の評価
安芸高田市 農業再協議会	安芸高田市 安芸高田地区	広島北部農 業協同組合	青ねぎ	H28	生産技術高度化施設 ・低コスト耐候性ハウス 3棟 24,122㎡ ・養液栽培装置1式	施設野菜産地の拡大 ①低コスト対候性ハ ウスの整備による産 地拡大	販売額の 10%以上 の増加	1,049,380 千円	1,232,372 千円	1,203,432 千円	84.2%	産地全体では、出荷数・販売額とも増加している。 しかし、降雪によるハウスの倒壊で営農を中止した生産者が発生したり、施設の老朽化による栽培面積の減少や従業員の減少、燃料代の高騰による冬季栽培の減少により、出荷数が伸び悩んだ。さらに販売単価が安く推移したことも響き、販売額目標が達成できなかった。 今後は、老朽化した施設の更新やパート労働者の雇用促進を進め、改善が図られるまで指導・監督をおこなう。	7月豪雨後の猛暑・干ばつ等異常気象により、一部の生産者で、養液が高温になったことによる病気が多発し、生産量が目標を下回った。そのため、販売額向上の目標が達成されなかった。 また、H30年2月の降雪によりハウスの倒壊があったため、作付面積が目標を下回った。 今後は、被災したハウスを再建し、養液を冷却する水源の確保等の対策を進めるとともに、グループで定期的に研修を行い、技術力の向上を図ることとしており、販売額目標が達成されるよう指導を行っていく。	産地全体では出荷量・販売額とも増加しているが、7月豪雨後の猛暑・干ばつ等の異常気象により、一部の生産者で養液が高温になったことによる病気が多発し、生産量・販売額とも目標を下回った。 今後については、産地では定期的な会合で意見交換をするなど、技術力の向上に向けての取組を始めており、県としても農協・市と協力して目標達成に向け支援していく。